

会 議 録

会議の名称	令和6年度 第4回坂戸市立図書館協議会
開催日時	令和7年3月28日（金） 午後3時35分 開会 午後4時38分 閉会
開催場所	坂戸市立中央図書館 2階 視聴覚室
議長（委員長・会長）の氏名	委員長 石橋 妙子
出席者（委員）の氏名・出席者数	石橋 妙子 市川 なお美 高山 かつ子 鴨 由美 貝瀬 由己子 関口 千登世 高橋 好次郎 7名
欠席者（委員）の氏名・欠席者数	服部 菜々子 谷口 義明 2名
事務局職員の職・氏名	館長 小林 幸子 課長補佐 植木 昌美 主任 金子 芳広 主任 久保 彰子 4名
会 議 次 第	1 開会 2 委員長挨拶 3 報告事項 （1）令和6年度第4四半期利用状況について （2）令和6年度第4四半期実施事業報告について （3）令和7年度当初予算の概要について （4）令和7年度事業計画（案）について 4 その他 5 閉会
配布資料	【事前配布】 ・令和6年度第4回坂戸市立図書館協議会次第 ・令和6年度第4回坂戸市立図書館協議会資料 ・令和6年度第4回坂戸市立図書館協議会資料の概要 【当日配付】 ・坂戸市立図書館協議会委員名簿 ・田中一郎氏と坂戸をめぐる旅～その2～

会 議 録

	議 事 の 経 過
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	1 開会 出席者 7 名。図書館協議会運営規則第 4 条第 1 項の規定により、会議の成立を報告する。
委員長	2 挨拶
副委員長	3 報告事項 ※委員長の体調を考慮し、副委員長が議事を進行 (1) 令和 6 年度第 4 四半期利用状況について
事務局	事務局説明
副委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし。
副委員長	(2) 令和 6 年度第 3 四半期実施事業報告について
事務局	事務局説明
副委員長	意見、質問を求める。
委員	教養講座に参加したが、出版に関わるもので非常に興味深い内容であった。本の大事さを読み手側だけでなく、作り手の方から聞かせていただき貴重な機会となった。
副委員長	教養講座は私も聞いていたが、図書館の持つ意味は大きいと感じた。
委員	はたこうしろさんのヘンテコ動物を作ろう！に参加した。普段だと子ども 2 名に保護者 1 名かと思うが、保護者が 2 名いるのではないかと感じるくらい大人が多く参加していた。とても楽しい講座であった。はた先生がいろいろと材料を準備してくださり、好きな材料を選ぶことができる楽しさを体感した。また、先生はとても褒め上手で「これはいいね。個性的だね。」と一人ひとりを褒めて会場を回り、さすが講座に慣れている方だと感じた。

委員	園児おはなし会、出張おはなし会について、園に出かけて行ったり、図書館にバスで来たり歩いて来たりと色々であるが、子どもたちは嬉々として話を聴いてくれるし、1階で本を探したりする。これからも大変だと思うが頑張ってやっていただきたい。
委員	ロングランな講座が継続して展開されており素晴らしいと思う。継続は力なりであるし、小さい子どもの読書習慣は一日では成立しないものなので、長くやることによって、大人になってから自分の子どもに読み聞かせるという習慣が出来ると思うので、長いスパンでとても有効な講座だと思う。
委員	今、お話があったように、園児おはなし会や出張おはなし会は、普段あまり図書館に来られない園児たちにも楽しんでもらえ、今後に繋がっていけばいいと感じた。
委員	福袋（年末）について、赤ちゃん13セットとあるのは、これは貸し出しのあったセットのことか。
事務局	貸し出されたセット数である。
委員	中高生がどのようなテーマに惹かれるのか興味がある。
副委員長	小さい子は絵本が多いかと思うが、中学生や高校生はどのようなテーマなのか。
事務局	絵本だけでなく、読み物も入れている。小学生だと恐竜や、学年が上がるにつれて日本の伝統や旅などのテーマで本を集めた。その中に当たり券も入れており、当たり券が入っていた方には、雑誌の付録やおもしろ消しゴムをお渡ししている。
委員	3冊で1セットなのか。
事務局	3冊を1セットとし、ラッピングして展示・貸出しを行った。
副委員長	展示事業についてはいかがか。
事務局	昨年、田中一郎先生のご家族から、版画とスケッチ合わせて337点を寄贈いただき、第2展示コーナーにおいて、「田中一郎氏と坂戸をめぐる旅～その1」を今月下旬まで展示。お手元に資料を置かせていただいたが、4月から次の展示を行う予定である。

副委員長	1月の始めに大河ドラマ特集の内容の展示等、その時に合わせたテーマ選びを考えられていると思う。
事務局	時事に合わせたものや市の他部署と連携した企画等、これらを調整し展示している。
副委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし
副委員長	(3) 令和7年度当初予算の概要について
事務局	事務局説明
副委員長	意見、質問を求める。
委員	図書館費の委託料について、昨年度予算との乖離はどのような点か。
事務局	今年度は、基本設計の予算が1千万円、来年度は実施設計の予算が800万円のためこの差が大きい。
副委員長	この図書館の運営費を見ると、施設の修繕等を適宜行っていくため、前館長が一步踏み出し、続いて現館長がそれに則って進めていくということで良かったと思う。
委員	一部、1階の天井部分から雨漏りしたようで、シートに覆われていたことがあったが、1階まで漏る程どこか酷い状況なのか。
事務局	当館の造りは、建物の中に雨樋が入った構造で、この樋が老朽化し、結果雨漏りを引き起こしてしまい修繕を実施した。来年度は、実施設計をし、令和8年度に屋根の改修工事を進めさせていただく予定である。
副委員長	学校の体育館等についても、外に樋を出さず、中に樋を入れる工法が流行ったことがあった。それが何十年か経つと傷んでしまい修繕の仕直しが必要となっている。確かに、外から見ると格好はよいが一時の流行りであった。
副委員長	細かく予算を積み上げていただいた。これで来年度の事業を進めていただければと思う。

副委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし
副委員長	(5) 令和7年度事業計画(案)について
事務局	事務局説明
副委員長	意見、質問を求める。
委員	ずっと関わって来た子ども向けの講座を、大人向けの講座に変更することだが、何故子ども向けの路線から大人のものに変えてしまうのか。夏休みに子どもと一緒に事業をできるのが楽しみだったし、子どもたちは「僕はこれが好き。私はこうしてみたい」、という希望を膨らませて6枚の絵を描いて、最後にハードカバーのものになるのを喜んでくれていた。4年間やってきて今年もやれたらな、と思っていたので非常に残念であり、理由を聞きたい。
事務局	全体的にみて、図書館の事業は子ども向けのものが多く、大人向けの事業を作って欲しい、と要望をいただいております、何か出来ないかということだったので、計画させていただきました。 本日、ご意見を伺ったので今後の計画については検討させていただきたい。
委員	全く別物だと思うので、こちらを止めて、というものではないと思う。
副委員長	後程、事務局で相談してもらい、子ども向けもやって欲しい、ということなので、それを受け止め、善処できるところはしてもらい、後で相談いただきたい。何かを変更する際は、担当者と打合せの機会を持ってもよいのではないかと。
委員	2月に予定されている読み聞かせボランティア養成講座は新規の方向けで、6月にはスキルアップということなので、受けた方が続いていく感じなのか。
事務局	6月の研修会はボランティア登録をし、図書館で活動されているボランティアが対象で、2月の養成講座は新規ボランティア募集を目的に、ボランティア経験のない方が対象である。
委員	市全体の事業として、特に多文化共生、若い方、子どもたち、親子、に

	向けての切り口が更に広がっていると思う。図書館だけではない子育ての事業等、バランスを取るのがだんだん求められているのだと思っており、今までと同じではなく、今までを活かしながら相談し合いながら決めている、ということの本庁の方々に伝えてもらえると、きっと現場の声を活かして事業展開しているということを伝えることができいいと思う。その中で、映画の鑑賞会があって、たまたま「戦争」と付いているものは戦後80年、というところから設定されているのか。
事務局	戦後80年から設定したものではない。「ぼくらの七日間戦争2」は、子どもたちが夏休み中に南の島（沖縄）での冒険を描いた作品で、夏休みの子ども向け映画として選定した。
副委員長	意見、質問を求める。
委員	意見、質問なし
副委員長	子ども向けの講座について、一つ提案があったので、事務局で相談して欲しい。
副委員長	（４）その他について 委員から何かあるか。
委員	皆さんの机に、大人のおりがみ教室で作った鶴の小箱とポチ袋を二つ置かせてもらった。おりがみに限らず、素敵な包装紙でも作ることが出来る。
委員	調べる学習コンクールの応援講座の日程について伺いたい。
事務局	確認でき次第、連絡させていただきたい。
委員	城西大学水田記念図書館報「Book Mark」 vol.180 について
委員	学校の紹介になると思うが、ホームページに載っているのか。
委員	ホームページに載るだけでなく、データベースになっており、全てキーワードで切り出しをし、城西大学で検索をかけると「Book Mark」も載っている。
委員	対面朗読は、随時行っていくということであるが、新規希望者はいないのか。

事務局	現在の登録者は8名のうち1名が利用している。他の登録者は、高齢で図書館まで自力で来館できない、高齢者施設に入所している、また、障害者向けの送迎サービスも有料で月数回しか利用することができない等、経済的理由で利用が少なくなっており、今のところ新規希望者はいない。
委員	現状、高齢の方の登録が多いようであるが、その下の世代の方はネットサービスがあるので、対面朗読の利用は少なくなっているのではないかと思う。
事務局	インターネットを利用できる視覚障害者ならばサピエ図書館でデジタイ図書のダウンロードを利用している方もいると思われる。
委員	前回の協議会の際に、坂戸市文化団体連合会の2月2日の講座の紹介をいただいた。坂戸の文献だったり絵本だったりの情報に加えて、自分たちの文化資源や文化財を市民がどのように学習しているかを紹介できる機会として、図書館が情報提供する場になったらよいと思う。
委員	2月2日の講座には85名の方に参加いただいた。元々、文化団体連合会の会員は約700名。会員研修ということで文化を推進するためには、自分が住んでいる街の歴史を知ることから始めよう、ということで始めた企画・講演会であるが、なかなか会員が集まらなかった。強制的な出席とするわけにはいかないので、一般の方にも開放した。出席者数は、会員35名、一般50名であった。初めてアンケートを取ったが、そのアンケートに答えてくれた方が62名おり、記述式で沢山の思いを書いていただいた。戦後80年ということで、坂戸の若葉に飛行場があった、という身近なテーマであったということもあり、とても有意義な講演会をさせていただいた。また、講演会をするにあたり、市の出前講座も活用している。図書館も2講座、出前講座を選定されているようだが、この出前講座を活用し、図書館も図書館の専門家が一般市民に向けて講座に出向き、色々と話をしてもらうことができると思うので、もっと活用してもらいたい。
副委員長	直ぐに、ということではないが考えてもらいたいことがある。千代田小学校の前を通ると「にこにこ仲間づくり」という表題が掲示されている。当然、学校の教育目標は別にあるが、図書館も図書館法に基づいて運営している訳ではあるが、親しみを込め、図書館のキャッチフレーズを考えてみてもよいのではないかと思う。近隣の図書館にも聞いてみたが、キャッチフレーズを考えている図書館はなかった。
委員	職員が考えるのもよいが、利用者からアイデアを募集してもよいのではないか。

事務局	今後の検討課題とさせていただきたい。
副委員長	事務局から何かあるか。
事務局	図書館職員の人事異動について、3月25日に内示があったので報告させていただく。中澤係長が今月末日付けで退職となる。また、令和7年4月1日付けの人事であるが、久保主任が係長に昇任・昇格となる。転出は3名で、功刀主任が千代田児童センター、鹿山主任が三芳野地域交流センター、灘野主事が情報政策課へ異動となる。新たに男性職員2名が転入となるので、よろしく願いしたい。
副委員長	他になれば、これで議事を終了とする。
副委員長	副委員長挨拶
事務局	6 閉会 ※新年度、第1回目の協議会の開催は7月下旬を予定